

令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 栃木県教育委員会

1. 背景・目的

- 高等学校段階における入院生徒への教育保障について、**生徒が在籍高等学校とのつながりを保ちながら学習を継続することができる**よう、在籍高等学校による指導を軸とした教育支援体制の構築を目指し、以下の文科省事業を受託し、体制整備や充実を図ってきた。
- ・平成30年度 「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」
 - ・令和元・2年度 「高等学校段階における入院生徒への教育保障体制整備事業」
 - ・令和3・4年度 「高等学校段階の病気療養中等の生徒に対するICTを活用した遠隔教育の調査研究事業」
 - ・令和6年度 「ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)」

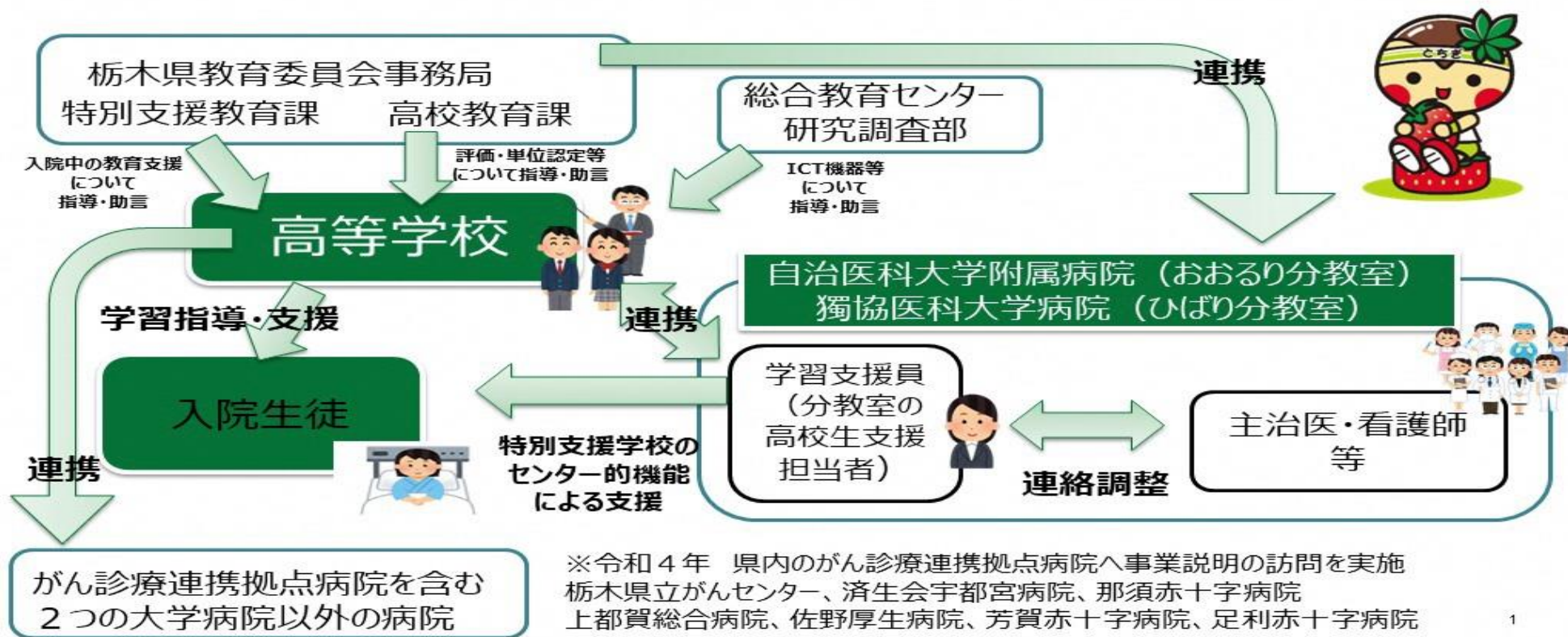
学校と**つながり**を保ち、生徒の**安心感を高める**指導・支援
の充実を目指す



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 栃木県教育委員会

2. 実施内容 (実施体制)

- 普及啓発の取組等●
- | | |
|----|----------------------------------|
| 5月 | 高等学校特別支援教育コーディネーター研修、県立学校養護教諭研修会 |
| 随時 | 県立学校長会、県立学校教頭事務連絡会、県立学校教務主任連絡協議会 |
| 9月 | 健康増進課主催 がん対策連携協議会 (医療関係者への事業周知) |



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 栃木県教育委員会

2. 実施内容・生徒支援状況

生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	生徒E	生徒F	生徒G
高2 (男子)	高2 (女子)	高1 (男子)	高2 (女子)	高1 (女子)	高1 (女子)	高2 (女子)
自治医科大学 附属病院 R6.2～R6.7	自治医科大学 附属病院 R6.3～R6.7	自治医科大学 附属病院 R6.4～R6.4	獨協医科大学 病院 R6.6～R6.10	埼玉県立 小児医療センター R6.9～	獨協医科大学 病院 R6.11～R6.11	自治医科大学 附属病院 R5.12～ R6.5
同時双方向型	同時双方向型	課題提供	同時双方向型	同時双方向型・ オンデマンド型	同時双方向型	課題提供
復学支援 会議	復学支援 会議	※入院2週間	※一時退院の 期間含む	在籍校＋ 他県特別支援学 校による学習支援	※入院1週間	※R6.4～ 休学、入院期間は高 校と分教室が連携しサ ポート

・オンデマンド型の授業の実施

実施教科：保健体育・家庭科・数学・化学

授業を録画し、Microsoft Teamsで生徒にデータ送付、授業プリントの配付

・同時双方向型の授業…在籍校とのつながりを重視

テレプレゼンスロボットKubiの活用（オンライン面談、行事中継等）



令和6年度 ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版) 栃木都道府県教育委員会

3. 成果・課題

〈成果〉

・オンデマンド型の
授業の実施



「治療で欠席が気になるので、体調に合わせて好きな時間に視聴し勉強できるオンデマンド型の授業はとても良い。」

「オンライン面談をしたり、行事（体育祭）の時、オンラインでつないでもらった。友達や先生とつながっている感覚があるので、安心できる。」

⇒安心感（在籍校とのつながり、治療と学業の両立）を高める支援としての有効性
学習を継続できることによる、学習空白の最小化（＝復学時の不安軽減）

〈課題〉

・オンデマンド型の授業の取組を広げていくために

- ①教員が取り組みやすい実施方法の研究
- ②病気療養中の生徒への学習保障に関する教員への周知の工夫



本事業は、文部科学省の委託を受け、実施したものです。
報告書の詳細は、下記URLからご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006/r06/1422284_00002.htm

